



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 09138800

(43)Date of publication of application: 27.05.1997

(51)Int.Cl.

G06F 17/27

G06F 17/21

G06F 17/24

(21)Application number: 07296589

(71)Applicant:

DAINIPPON SCREEN MFG CO LTD

(22)Date of filing: 15.11.1995

(72)Inventor:

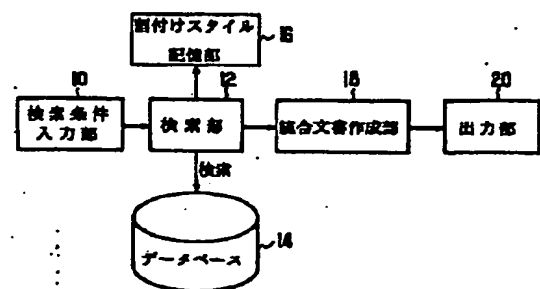
TAKAZAWA TORU
NAKAYAMA HIROSHI
KITAMURA HIDEAKI

(54) DOCUMENT PREPARATION METHOD AND DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To reduce a work burden accompanied by means of a change in the structure of a document to be handled and to speedily correspond to the change.

SOLUTION: Document data on unit documents constituting a sightseeing information document such as the guide of famous places are stored in a data base 14. An allocation style at the time of constituting one sightseeing information document by combining the unit documents is stored in an allocation style storage part 16. A retrieval part 12 reads the allocation style from the allocation style storage part 16 and retrieves the unit document fitted to a retrieval condition inputted from the retrieval condition input part 10 from the data base 14. A synthesized document generation part 18 generates synthesized document data on the sightseeing information document by allocating the retrieved unit documents in accordance with the allocation style. Synthesized document data generated is outputted from an output part 20.



1 (3)
(a)

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平 9 - 1 3 8 8 0 0

(43) 公開日 平成 9 年 (1997) 5 月 27 日

(51) Int. Cl. °	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F	17/27		G 0 6 F	15/20 5 5 0 E
	17/21			5 3 0 E
	17/24			5 3 6

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平 7 - 2 9 6 5 8 9

(22) 出願日 平成 7 年 (1995) 11 月 15 日

(71) 出願人 000207551

大日本スクリーン製造株式会社
京都府京都市上京区堀川通寺之内上る 4 丁
目天神北町 1 番地の 1

(72) 発明者 高澤 通

東京都豊島区東池袋 5 丁目 38 番 7 号 大日本
スクリーン製造株式会社東京研究所内

(72) 発明者 中山 寛

東京都豊島区東池袋 5 丁目 38 番 7 号 大日本
スクリーン製造株式会社東京研究所内

(74) 代理人 弁理士 吉田 研二 (外 2 名)

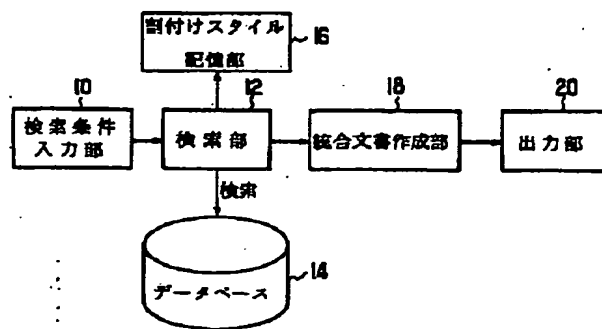
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 文書作成方法および装置

(57) 【要約】

【課題】 取り扱う文書の構造の変更に伴う作業負担が小さく、そのような変更に迅速に対応することができる文書作成方法および装置を提供する。

【解決手段】 データベース 14 には、名所案内など、観光情報文書を構成する単位文書の文書データが格納されている。また、割付けスタイル記憶部 16 には、それら単位文書を組み合わせて 1 つの観光情報文書を構成する際の割付けスタイルが記憶されている。検索部 12 は、割付けスタイル記憶部 16 から割付けスタイルを読み出すとともに、検索条件入力部 10 から入力された検索条件に適合する単位文書をデータベース 14 から検索する。統合文書作成部 18 は、検索された各単位文書を割付けスタイルに従って割付けることにより、観光情報文書の統合文書データを作成する。作成された統合文書データは、出力部 20 から出力される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の単位文書を所定の割付けスタイルで編集統合して統合文書を作成する文書作成方法であつて、各単位文書には、当該単位文書の種類を示すあらかじめ定義された種類名が与えられ、割付けスタイルは、統合文書中の各割付け位置とこれに割り付けられる単位文書の種類名との対応情報を有しており、前記割付けスタイルの各割付け位置に、対応する種類名の単位文書を割り付けることにより統合文書を作成することを特徴とする文書作成方法。

【請求項2】 請求項1記載の文書作成方法において、前記単位文書はSGMLにおける所定の文書型定義に従って記述され、当該単位文書に与えられる種類名は前記文書型定義の名称であることを特徴とする文書作成方法。

【請求項3】 複数の単位文書を所定の割付けスタイルで編集統合して統合文書を作成する文書作成装置であつて、あらかじめ定義された種類名が与えられた単位文書を格納する単位文書データベースと、入力された検索条件に適合する単位文書を前記単位文書データベースから検索する単位文書検索手段と、統合文書中の各割付け位置とこれに割り付けられる単位文書の種類名との対応情報を示す割付けスタイルに従って、前記単位文書検索手段で検索された単位文書を当該単位文書の種類名に対応する割付け位置に割付ける割付け手段と、を有することを特徴とする文書作成装置。

【請求項4】 請求項3記載の文書作成装置において、複数の割付けスタイルを格納したスタイルデータベースと、入力された検索条件に適合する割付けスタイルを前記スタイルデータベースから検索するスタイル検索手段と、を有し、前記割付け手段は、前記スタイル検索手段にて検索された割付けスタイルに従って単位文書を割付けることを特徴とする文書作成装置。

【請求項5】 請求項3、4いずれかに記載の文書作成装置において、前記単位文書はSGMLにおける所定の文書型定義に従って記述され、当該単位文書に与えられる種類名は前記文書型定義の名称であることを特徴とする文書作成装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、文書作成方法および装置に関し、特に構造化された文書を作成する方法および装置に関する。

【0002】

【従来の技術】文書情報のコンピュータによる管理が一般的となった今日、作成した文書を他人と交換したり、データベースなどに保管して再利用したりすることが多くなっている。このため、文書の交換や再利用などが容易に行えるような環境の整備が求められている。この要望に応えるために、ISO（国際標準化機構）はSGML（Standard Generalized Markup Language）という文書記述言語の標準規格を制定した。SGMLは、文書の論理的な構造を記述するための記述言語であり、文書の保存/検索や交換のための標準的な言語として普及しつつある。

【0003】SGMLでは、まず例えば領収書なら領収書に共通する論理構造、取扱説明書なら取扱説明書に共通する論理構造と言った具合に、同種の文書に共通する論理構造を抽出する。そして、この抽出結果をSGMLの文法に従って記述したものを、その種類の文書に共通する論理構造を示した書式の定義として用いる。このような書式の定義をDTD（Document Type Definition：文書型定義）と言う。個々の文書は、その文書の種類について定義されたDTDに従って作成される。これら文書は、各文書種類ごとにそれぞれ共通のDTDに従って作成されているので、検索や交換が容易となる。

【0004】これらSGMLに従った文書の保存・検索などを行う文書管理装置は、すでにいくつか開発されているが、これら従来装置の利用方法は、特定種類の文書に特化し、当該種類の文書の構造を細部まですべて規定した1つのDTDを用いるものが一般的であった。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】ところが、現状では、DTDが標準化されているのは特許明細書など極めて限られた種類の文書についてのみであり、他の大多数の種類の文書についてはDTDの標準化は達成されていない。

【0006】DTDが標準化されていない大多数の分野では、暫定的なDTDを定め、これに従って個別の文書を作成し、保存し、再利用に供することになるが、ここで用いられるDTDはあくまで暫定的なものであり、修正や変更が必要となる場合も多い。実際のSGML文書を取り扱う現場でも、DTDの変更・修正が容易にできる装置が求められている。

【0007】しかしながら、従来装置のように文書の構造を細部まですべて1つのDTDによって規定する装置には、DTDの変更に対処しにくいという問題があった。すなわち、従来装置では、DTDを変更した場合、装置に保存されているすべての文書のデータを新たなDTDに合う形式に修正しなければならなかったため、DTDの変更に伴う作業負担は膨大なものとなり、DTDの変更に迅速に対応することが困難であった。

【0008】本発明は、このような問題を解決するため

になされたものであり、取り扱う文書の構造の変更に伴う作業負担が小さく、そのような変更に迅速に対応することができる文書作成方法および装置を提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】 前述の目的を達成するために、本発明に係る文書作成方法は、複数の単位文書を所定の割付けスタイルで編集統合して統合文書を作成する文書作成方法であって、各単位文書には、当該単位文書の種類を示すあらかじめ定義された種類名が与えられ、割付けスタイルは統合文書中の各割付け位置とこれに割り付けられる単位文書の種類名との対応情報を有しており、前記割付けスタイルの各割付け位置に、対応する種類名の単位文書を割り付けることにより統合文書を作成することを特徴とする。

【0010】 この方法では、各単位文書には種類名が与えられており、割付けスタイルに規定される種類名と割付け位置との対応情報に従って、各単位文書に対応する割付け位置に割り付けることにより1つの統合文書を作成する。ここで種類名は、個々の単位文書にそれぞれ別個に与えられる文書名とは異なり、同一種類の単位文書に共通のものである。

【0011】 また、本発明に係る文書作成装置は、複数の単位文書を所定の割付けスタイルで編集統合して統合文書を作成する文書作成装置であって、あらかじめ定義された種類名が与えられた単位文書を格納する単位文書データベースと、入力された検索条件に適合する単位文書を前記単位文書データベースから検索する単位文書検索手段と、統合文書中の各割付け位置とこれに割り付けられる単位文書の種類名との対応情報を示す割付けスタイルに従って、前記単位文書検索手段で検索された単位文書を当該単位文書の種類名に対応する割付け位置に割り付ける割付け手段と、を有することを特徴とする。

【0012】 この構成では、単位文書検索手段によって検索された各単位文書を、割付け手段にて割付けスタイルに従って割り付けることにより、1つの統合文書を作成する。

【0013】 また、本発明に係る文書作成装置は、上記構成に加えて、複数の割付けスタイルを格納したスタイルデータベースと、入力された検索条件に適合する割付けスタイルを前記スタイルデータベースから検索するスタイル検索手段とを有し、前記割付け手段は、前記スタイル検索手段にて検索された割付けスタイルに従って単位文書を割付けることを特徴とする。

【0014】 この構成では、複数の割付けスタイルから検索条件に適したものを選び出し、それに従って統合文書を構成することができる。

【0015】 なお、本発明に係る文書作成方法および装置においては、単位文書をSGMLにおける所定の文書型定義に従って記述し、当該単位文書に与えられる種類

名は文書型定義の名称とすることが好ましい。

【0016】

【発明の実施の形態】 以下、本発明に係る文書作成方法および装置の好適な実施形態を図面に基づいて説明する。

【0017】 実施形態1. 以下では観光情報文書を作成する場合を例にとって説明する。

【0018】 図2は、本実施形態で取り扱う観光情報文書の形式の一例を示す図である。

10 【0019】 図2に示す観光情報文書には、例えば金閣寺なら金閣寺という1つの名所の地図や概要説明などを記した名所案内、その名所の近くの有名なレストランの住所や特徴などを記したレストラン案内、およびその名所の近くで開かれるイベントの内容説明や開催日などを記したイベント案内が含まれる。

20 【0020】 本実施形態では、このような観光情報文書をいくつかの構成要素に分けて管理する。すなわち、本実施形態では、図2に示す観光情報文書を、名所案内、レストラン案内およびイベント案内の3つの構成要素に分け、それら各構成要素の文書を組み立てることにより一つの観光情報文書を作成する。以下では、名所案内やレストラン案内などのように、大きな文書の構成要素となる個々の文書のことを単位文書と呼ぶ。そして、それら単位文書を組み立てて作成する観光情報文書などの大きな文書のことを統合文書と呼ぶ。従って、観光情報文書は、名所案内などの単位文書から構成される統合文書といえることができる。

30 【0021】 各単位文書は、それぞれ所定のDTDに従って記述される。図3、図4および図5に、名所案内、レストラン案内およびイベント案内のDTDをそれぞれ示す。各DTDには、まず先頭にその単位文書の種類を示す文書種類名が規定されており、以下その単位文書に含まれる文書要素が列挙されている。

40 【0022】 例えば「金閣寺の名所案内」という文書名の単位文書は、図3に示す名所案内のDTDに従って、「名所案内」という文書種類名に続き、名所名（金閣寺）や地図などの必要な文書要素が記述される。そして、本実施形態では、このような名所案内の単位文書を、各名所について個々に作成し、データベースに保存する。同様に、レストラン案内やイベント案内の単位文書についても、各レストランや各イベントごとに、対応するDTDに従って個々に作成しデータベースに保存する。データベースに保存された各単位文書は、先頭に記された文書種類名によりどの文書種類に属するかを区別することができる。

50 【0023】 そして、本実施形態では、名所案内、レストラン案内およびイベント案内の単位文書を組み立てることにより観光情報文書という一つの統合文書を構成する。このときの単位文書の組み立て方のことを割付けスタイルと呼ぶ。

【0024】図6に、本実施形態における観光情報文書の割付けスタイルの例を示す。図6の割付けスタイルには、観光情報文書を出力する際の出紙などのサイズや組み方向を示す書式指定が規定される。そして、割付けスタイルには、さらに各単位文書が統合文書たる観光情報文書全体のうちのどの位置に割付けられるかが規定される。例えば、図6の割付けスタイルでは、「名所案内」に属する単位文書は、1ページの上全段に割り付けられることが規定されている。

【0025】このような割付けスタイルに従って、各単位文書をそれぞれ定められた割付け位置に割付けることにより、1つの観光情報文書を構成することができる。

【0026】図1は、本実施形態に係る文書作成装置の概略構成を示すブロック図であり、図7はこの文書作成装置を用いた文書作成処理の流れを示すフローチャートである。以下、図1および図7を参照して、本実施形態に係る文書作成装置について説明する。

【0027】図1において、データベース14には、名所案内などの各文書種類についてのDTD（図3～図5参照）と、それらDTDに従って記述されている複数の単位文書とが格納されている。また、割付けスタイル記憶部16には、図6に示した割付けスタイルが記憶されている。

【0028】検索条件入力部10には、操作者から文書検索のための検索条件が入力される（S10）。例えば、ここで金閣寺についての観光情報が欲しいという検索条件が検索条件入力部10に入力されたとする。この検索条件を受け取った検索部12では、まず割付けスタイル記憶部16から観光情報文書の割付けスタイルを取り出す（S12）。それから、検索部12は、割付けスタイルの〈内容〉をキーワードにしてデータベース14を検索し、金閣寺についての名所案内の単位文書を読み出すとともに、さらに住所などのデータから金閣寺の近くのレストランのレストラン案内、および金閣寺の近くのイベントのイベント案内の各単位文書を探索する（S14）。これら単位文書のデータには、単位文書の論理構造をDTDに従って記述したSGML文書と、このSGML文書を印刷あるいはディスプレイ表示する際の各文書要素の配置位置や書体などを指定した図11に示す様なテンプレートとが含まれる。そして、検索部12は、検索により得られた各単位文書を割付けスタイルと共に統合文書作成部18に入力する。

【0029】統合文書作成部18は、これら各単位文書を割付けスタイルに従って割付けることにより、観光情報文書の統合文書データを作成する（S16）。このとき、統合文書作成部18は、各単位文書に記されている文書種類名を参照して、各単位文書を、割付けスタイルに規定された各文書種類名に対応する割付け位置に割付ける。さらに、統合文書作成部18は、各単位文書のテンプレート情報もこれに加えることにより、印刷などの

出力に適した形の統合文書データを作成する。作成された統合文書データは、出力部20から出力される（S18）。出力部20は、例えば校正用のプリンターやディスプレイなどである。出力部20からは、図2に示すような観光情報文書が出力される。

【0030】以上説明したように、本実施形態は、このような構成を採ったことにより、次のような利点が得られる。

【0031】まず第1に本実施形態では、統合文書全体の割付け構造を変更する場合には、割付けスタイルを変更するだけでよく、個々の単位文書のデータを変更する必要がない。

【0032】第2に、統合文書の一部の構造に変更がある場合には、その変更箇所を含む単位文書についてのみ変更するだけでよい。すなわち、例えば観光情報文書の名所案内の部分の構造に変更がある場合、従来は観光情報文書全体のDTDを変更し、さらにデータベースに格納された観光情報文書全部を読み出してその変更に対応した変更を行う必要があったが、本実施形態では、このような場合は名所案内の単位文書についてのみ変更すれば足りる。

【0033】第3に、単位文書の追加・削除による新たな統合文書の作成が容易となる。すなわち、従来手法では、例えば観光情報文書に新たな構成要素を加えて新たなDTDを作成した場合は、データベースに保存されているすべての観光情報文書を新たなDTDに従って修正しなければならなかったが、本実施形態によれば、追加する各単位文書およびDTDを作成し、この新たに追加された単位文書を割付けスタイルに組み込むだけで、新たな観光情報文書を構成することができる。また、単位文書の削除の場合も、本実施形態では割付けスタイルを変更するだけでよく、データベースのデータに手を加えなくても済む。

【0034】このように、本実施形態は、文書構造の変更に対して容易に対応できるとともに、新たな文書構造の構築を容易に行うことができる。

【0035】なお、以上の実施形態の説明では、観光情報文書について割付けスタイルを1つしか示していなかったが、割付けスタイル記憶部16に複数の割付けスタイルを格納しておき、検索条件に応じて適切な割付けスタイルを検索する構成とすることもできる。すなわち、本実施形態では、要素として含む単位文書の種類が同じでもそれらの配置構造が異なる割付けスタイルや、要素として含む単位文書の種類自体が異なる割付けスタイルなどの複数の割付けスタイルを割付けスタイル記憶部16に格納しておき、検索条件に適合した割付けスタイルを検索して用いることも可能である。なお、割付けスタイルの検索は、所望の割付けスタイルを指定する検索条件を検索条件入力部10から入力することにより行ってもよく、また単位文書に対する検索条件から適切な割付

けスタイルを自動的に選択する構成としてもよい。

【0036】このような構成によれば、従来の手法に比して次のような効果が得られる。すなわち、従来手法では、例えば、名所案内、レストラン案内およびイベント案内を含む観光情報文書1と、名所案内およびレストラン案内のみからなる観光情報文書2の2種類の文書形式があった場合、各名所について、観光情報文書1および観光情報文書2のそれぞれの形式で文書をあらかじめ作成しておく必要があった。これに対して、本実施形態では、名所案内、レストラン案内およびイベント案内の個々の単位文書は既に作成されているので、後は観光情報文書1および観光情報文書2の形式に合う割付けスタイルを作成するだけで、各名所ごとについては何ら追加処理を行う必要なく、それら2つの形式に適合した観光情報文書を作成することができる。

【0037】また、従来は、各名所ごとに、観光情報文書1および観光情報文書2の2つの形式で記述された文書データを両方ともデータベースに格納しておく必要があったのに対し、この構成では、各単位文書のデータと、観光情報文書1および観光情報文書2にそれぞれ対応する割付けスタイルとを用意するだけで済むので、データベースのサイズを大幅に縮小することができる。

【0038】さらに、本実施形態では、検索によって、データベースに格納されている複数の単位文書から必要な単位文書を取り出し、それら単位文書を割付けることで統合文書を作成するので、目的とする文書を効率的に作成することができる。

【0039】実施形態2. 本実施形態は、コンピュータディスプレイに階層的にウィンドウ表示するための文書データの作成を対象とする。以下、ここでも、観光情報文書を例にとって説明する。

【0040】本実施形態において作成される観光情報文書は、最終的には図8に示すように階層的に表示される。図8に示す表示形式について説明すると、まず初期画面Aには「金閣寺のご案内」というタイトルと「案内説明」および「外観図」のアイコンとが表示される。この表示を見たユーザが例えば「案内説明」のアイコンをクリックすると、案内説明のウィンドウA₁が開く。ウィンドウA₁には、「地図」および「見所」のアイコンと、金閣寺の概要説明の文書が表示される。以下、ウィンドウ内のアイコンをクリックされると、そのアイコンに対応するウィンドウが開き、そのウィンドウの内部の文書が表示される。

【0041】本実施形態の装置は、図1の構成と同様の構成を有する。本実施形態における出力部20はウィンドウ表示機能を有するコンピュータのディスプレイである。なお、本実施形態では、データベース14内のデータが、図9に示すように、名所案内などのDTDに従って記述された単位文書データと地図や写真などの画像データとに分けて格納されている。各単位文書データは、

各々の文書種類に応じたDTDに従って記述されている。例えば、名所案内の単位文書は、DTD1に従って記述されている。また、画像データには、画像データの種類（地図画像、写真画像など）を示すデータや、その画像データについての検索キー（例えば、金閣寺の写真なら「金閣寺」という検索キーが与えられる）などの識別情報が付加されている。

【0042】そして、本実施形態では、このようなデータベースから検索した単位文書データや画像データを図10に示す割付けスタイルに従って割付けることにより、階層構造の観光情報文書を作成する。

【0043】図10の割付けスタイルでは、図8の表示構造を次のように表している。

【0044】まず割付けスタイルの最初の行には、初期画面のウィンドウAの書式がスタイルaであることが示されている。ここで、スタイルaは、図11に示すテンプレートに規定されている。テンプレートには、ウィンドウ内の表示要素（アイコン、テキストデータ、画像データなど）がどのようなレイアウトや書体で表示されるかが規定されている。例えば、スタイルaには、A4サイズのウィンドウを縦置にして開き、ウィンドウの上部に「タイトル」を文字サイズ18Q、書体1の文字を用いて中揃えで表示し、ウィンドウの左上部に「アイコン1」を、ウィンドウの右下部に「アイコン2」を、それぞれ16Q、書体1の文字で右揃えで表示することが規定されている。すなわち、本実施形態では、割付けスタイルは観光情報文書の階層的な論理構造を示し、スタイルテンプレートは当該観光情報文書を表示する場合の各ウィンドウ内の要素のレイアウトを示す。このスタイルテンプレートは、割付けスタイルと共に割付けスタイル記憶部16に登録される。

【0045】ウィンドウAのスタイル指定の次の行には、ウィンドウAのタイトルが「(名所名)のご案内」と表示されることが示されている。ここで、括弧でくくった(名所名)の中には、検索条件によって与えられる具体的な名所名が入る。また、図10には、ウィンドウAには「案内説明」のアイコン(アイコン1)が表示されることが示されている。

【0046】さらに、案内説明のアイコン1の宣言の次には、このアイコン1をクリックしたときに開くウィンドウA₁の内容が規定されている。すなわち、そこには、ウィンドウA₁はスタイルbで表示され、ウィンドウA₁には「案内」というタイトルと、概要説明の文書と、「地図」のアイコンとが表示されることが示されている。ここで、概要説明としては、データベースから検索された単位文書データが表示される。図10の割付けスタイルでは、概要説明の具体的な内容として、個別の文書ファイル名を指定するのではなく、そこに表示されるべき文書の種類名、すなわち表示されるべき文書のDTDの名前を指定している。例えば、A₁の概要

説明には、DTD1で記述された名所案内の単位文書が入る。

【0047】図10の割付けスタイルは、以下同様にして各ウィンドウの表示要素を階層的に規定している。

【0048】図1を参照して、本実施形態における処理の流れを説明する。

【0049】検索条件入力部10から「金閣寺」という検索キーが入力されると、検索部12は、割付けスタイル記憶部16から図10に示す割付けスタイルや図11に示すテンプレートの情報を読み出す。そして、検索部12は、データベース14から、検索キーの「金閣寺」

に適合する名所案内やイベント案内などの文書データおよび地図や写真などの画像データを検索する。

【0050】統合文書作成部18は、データベース14から検索された各データを、割付けスタイルの該当箇所に割付ける。例えば、DTD1で記述された金閣寺の名所案内は、ウィンドウA.1の「内容」の部分に割付けられる。この割付けは、例えば、割付けスタイルのウィンドウA.1の「内容」に、検索された金閣寺の名所案内のファイル名をリンクすることによって行う。このよ

うな処理の結果、階層的な論理構造を有する金閣寺の観光情報文書の統合文書データが出来上がる。

【0051】そして、出力部20は、この統合文書データをテンプレートに従って表示する。

【0052】このように、本実施形態は、割付けスタイルにおいていわば単位文書の論理的な意味での割付け位置を規定している。本実施形態でも、前記実施形態1と同様、文書構造の変更に容易に対応することができ、ま

た新たな文書構造の構築も容易に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係る文書作成装置の概略構成を示すブロック図である。

【図2】 実施形態1における観光情報文書の出力形式の一例を示す図である。

【図3】 実施形態1における名所案内の単位文書のDTDを示す図である。

【図4】 実施形態1におけるレストラン案内の単位文書のDTDを示す図である。

【図5】 実施形態1におけるイベント案内の単位文書のDTDを示す図である。

【図6】 実施形態1における観光情報文書の割付けスタイルの一例を示す図である。

【図7】 図1の文書作成装置の処理の流れを示すフローチャートである。

【図8】 実施形態2における観光情報文書の出力形式の一例を示す図である。

【図9】 実施形態2におけるデータベースのデータ内容を示す説明図である。

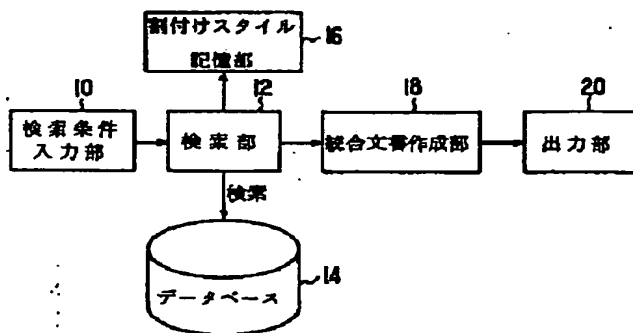
【図10】 実施形態2における割付けスタイルの一例を示す図である。

【図11】 テンプレートの内容を示す図である。

【符号の説明】

10 検索条件入力部、12 検索部、14 データベース、16 割付けスタイル記憶部、18 統合文書作成部、20 出力部。

【図1】

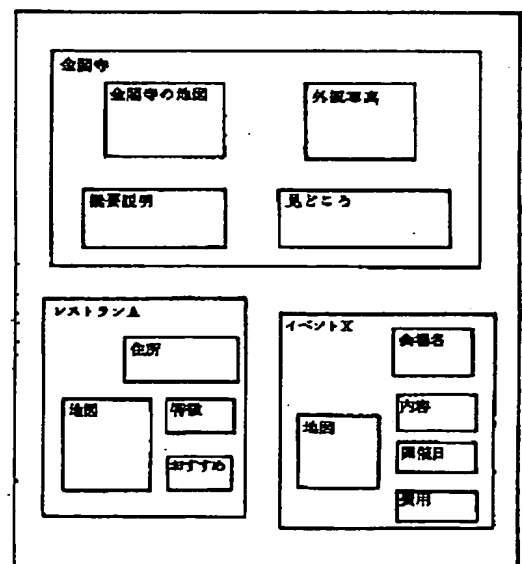


【図3】

【図4】

<文書種類名> 名所案内	<文書種類名> レストラン案内
<名所名> ○○○○	<レストラン名> △△△△△
<地図> ○○○	<住所> △△△△△△△
<外観写真> ○○○	<地図> △△△
<概要説明> ○○○○○	<特徴> △△△△△
<見どころ> ○○○○○	<お薦め品> △△△
	<料金> △△△

【図2】



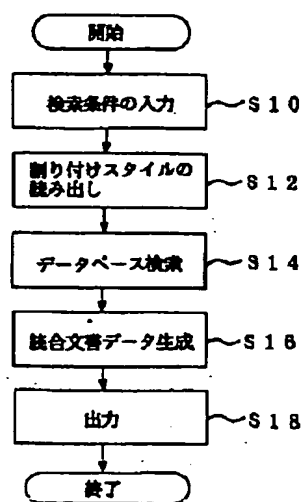
【図5】

<文書種類名> イベント案内
 <イベント名> ×××××
 <会場名> ××××
 <地図> ×××
 <内容> ×××××××
 <開催日> ××××××
 <費用> ××××

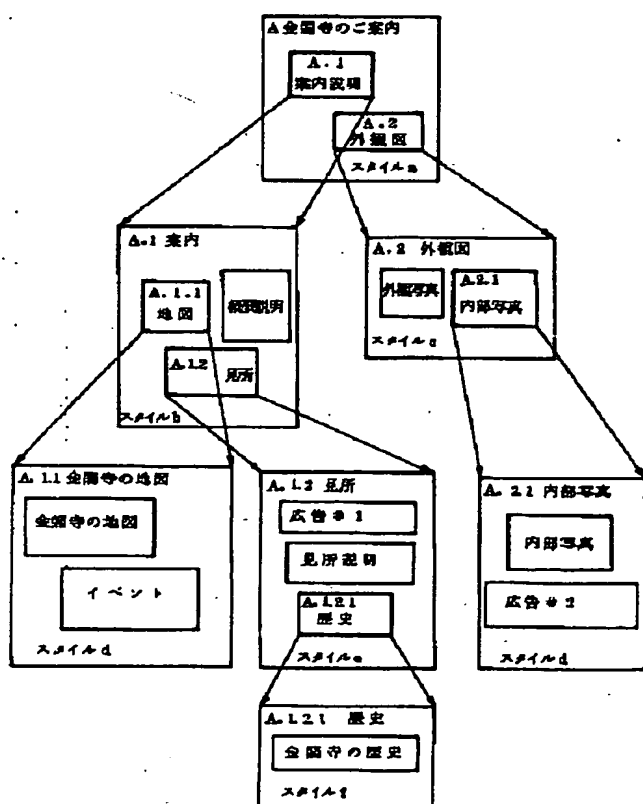
【図6】

<スタイル名> 観光情報
 <書式指定> A4 横 一段
 <情報の内容>
 <位置と大きさ> 上全段
 <内容> 名所案内
 <位置と大きさ> 左下
 <内容> レストラン案内
 <位置と大きさ> 右下
 <内容> イベント案内

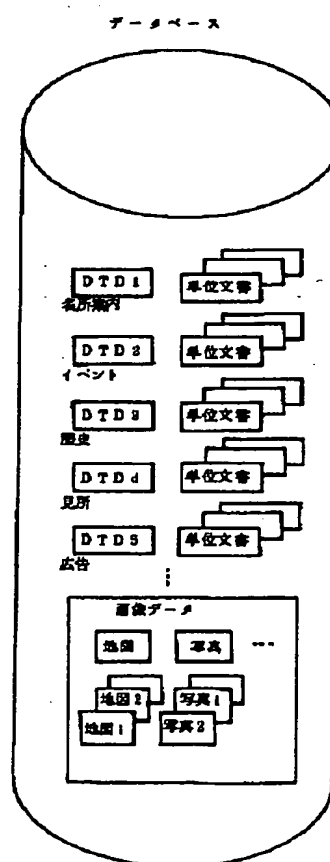
【図7】



【図8】



【図9】



【図10】

A (スタイルa)
 タイトル: (名所名) のご案内
 アイコン1: 案内説明
 A. 1 (スタイルb)
 タイトル: 案内
 内容: 概要説明 (文書種類: 名所案内 (DTD1))
 アイコン1: 地図
 A. 1. 1 (スタイルd)
 タイトル: (名所名) の地図
 内容1: 地図画像 (画像種類: 地図画像)
 内容2: イベント (文書種類: イベント (DTD2))
 アイコン2: 見所
 A. 1. 2 (スタイルe)
 タイトル: 見所
 内容1: 広告#1 (文書種類: 広告 (DTD5))
 内容2: 見所説明 (文書種類: 見所 (DTD4))
 アイコン: 歴史
 A. 1. 2. 1 (スタイルf)
 タイトル: 歴史
 内容: 歴史説明 (文書種類: 歴史 (DTD3))
 アイコン2: 外観図
 A. 2 (スタイルc)
 タイトル: 外観図
 内容: 外観写真 (画像種類: 外観写真)
 アイコン: 内部写真
 A. 2. 1 (スタイルg)
 タイトル: 内部写真
 内容1: 内部写真 (画像種類: 内部写真)
 内容2: 広告#2 (文書種類: 広告 (DTD5))

【図11】

スタイルa
 書式 A4横
 タイトル: 位置 上
 18Q, 書体1 中揃え
 アイコン1: 位置 左上
 16Q, 書体1 右揃え
 アイコン2: 位置 右下
 16Q, 書体1 右揃え
 スタイルb
 書式 A4縦
 タイトル: 位置 上
 18Q, 書体1 左揃え
 アイコン1: 位置 左
 12Q, 書体2 右揃え
 内容: 位置 右
 Size X, 書体3 両端
 アイコン2: 位置 下
 12Q, 書体2 右揃え
 スタイルc
 書式 B5横
 タイトル: 位置 上
 18Q, 書体1 中揃え
 内容: 位置 左
 画像データ
 アイコン1: 位置 右
 16Q, 書体1 右揃え
 .
 .
 .
 .
 .

フロントページの続き

(72)発明者 北村 秀明
 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目天神
 北町1番地の1 大日本スクリーン製造株
 式会社内